

子宮内細菌叢検査

子宮内フローラ検査

子宮内にどのような菌がどのような割合でいるのかを調べる検査です

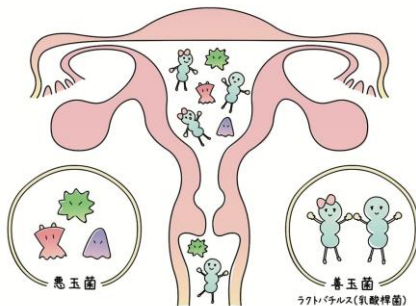
膣内の善玉菌（ラクトバチルス）は、有害な菌の増殖を防ぎ、胎児を感染症から守る役割をしていることが分かっています。

無菌だと考えられていた子宮にも、腸内の菌の集合体「腸内フローラ」のように「子宮内フローラ」が存在することが分かってきました。

膣内や子宮内フローラが乱れて、善玉菌が少ない状態になると、胚の着床を妨げたり、流産や早産のリスクが上がることが報告されています。

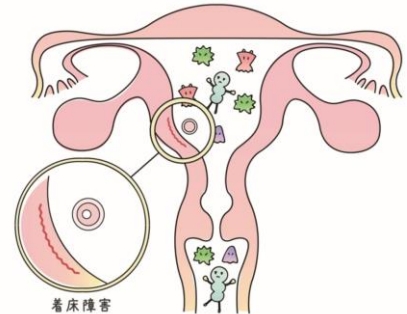
子宮内環境を知ることで、適切な抗菌薬やサプリメントを使用して子宮内環境を健全な状態にしていくことができます。

子宮内にはさまざまな細菌がいます



着床障害などが起こる可能性も

善玉菌が少ないと…



対象

- ・ 胚移植を繰り返しても妊娠に至らない反復着床不全の患者様
- ・ 流産を繰り返す患者様
- ・ 細菌性膣症、慢性子宮内膜炎がなかなか治らない患者様

検査方法

月経が完全に終了後、子宮内膜内腔の貯留液を採取します。膣分泌液の検査も同時に行えます。